



Housing support in Kagoshima

# 居住支援と互助の可能性

## ～「当事者主体の居住支援」の 実践から～

ポイント！

Housing network in Kagoshima

### 居住支援から互助へ

2023.

**2.10 FRI**

**13:30～16:30**

**ZOOM 開催**

申込 URL : <https://forms.gle/ePK1wnNY4fhzUqxq9>

やどかりが推進する「当事者主体の居住支援」、過去に居住に困難を抱えた経験のある方々が、現に住居を失いシェルターを利用している方々等に対して、具体的な支援を行っています。さらに、新生活における「つながり」作りの取組みも、当事者が主体です。

居住支援と互助の可能性。

現場からは「支援者による支援」とは違う「つながり」と「互助」を基盤とした、新たな居住支援、権利擁護の姿が浮かび上がりつつあります。

本シンポジウムにおいては、長年、互助活動に取り組んでいる抱樸(ほうぼく)互助会(北九州市)のみなさまをお迎えし、その取組みについてお話いただきます。さらに、全国で身寄りなし問題や権利擁護支援に取り組んでいる方々もコメンテーターとしてお迎えし、居住支援と互助の可能性について、ともに考えたいと思います。



Check!!

#### 抱樸(ほうぼく)互助会とは？

支援の現場で出会い、「家のある生活」「友のいる日常」を取り戻した野宿経験者の方々によるグループであった「なかまの会」が出发点。NPO の正会員・ボランティア、なかまの会とも「支援する人／支援される人」ではなく、そんな線引きをとっばらって「助けられたり助けたり」の輪を広げたいという思いから、2014年に誰でも入れる「互助会」が発足。互助会はどっちが支援者という線はない。「助けられたり助けたり」誰もが「わたしたちは互助会員」という「なかま」として活動している。互助会は『地域に開かれた大きな家(ホーム)』を目指している。

### ① 報告

#### 抱樸互助会の取組みについて

NPO 法人抱樸 ボランティア部主任 勝聡子氏  
互助会・なかまの会世話人 下別府為治氏

### ② 報告

#### 「当事者主体の居住支援」について

NPO 法人やどかりサポート鹿児島 と 互助会

### ③ パネルディスカッション

#### 居住支援と互助の可能性について

コーディネーター／NPO 法人やどかりサポート鹿児島 理事長 芝田淳  
パネリスト／NPO 法人抱樸 ボランティア部主任 勝聡子氏  
互助会・なかまの会世話人 下別府為治氏  
NPO 法人やどかりサポート鹿児島 と 互助会  
コメンテーター／NPO 法人知多地域権利擁護支援センター 理事長 及び  
全国権利擁護支援ネットワーク 事務局長 今井友乃氏  
NPO 法人身寄りなし問題研究会 代表 須貝秀昭氏



#### 【開催方法】

ZOOM による開催



#### 【申込方法】

申込 URL か QR コードから  
エントリー



#### 【申込〆切】

2月5日(日)〆切

#### 【参加料】

無料

#### 【定員】

100名

■主催：NPO法人やどかりサポート鹿児島

※このシンポジウムは2022年度独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業報告会として行います。

(連絡先) NPO 法人やどかりサポート鹿児島  
〒890-0056 鹿児島市鹿児島市下荒田4丁目30-5 プレジデント下荒田403号  
TEL.099(800)4842 <https://npoyadokari.jp/>



やどかりサポート 広報  
<https://www.facebook.com/yadokarisupportPR>